

こんなことができます!

不可能とされる 材料開発、 放射性セシウム、 シャープな観点で



夢

強い個性が国を支える
子どもたちが悲しまない
社会、笑顔に

共生システム理工学類

金澤 等

KANAZAWA Hitoshi

特任教授 工学博士

研究室 URL

http://kanalabo.web.fc2.com/fu_dao_da_xue_jin_ze_yan_jiu_shi/Home.html

専門分野

高分子科学、染色化学、繊維科学、
材料製造科学

特許情報、著書、論文

特許 国内4件、国際1件
著書 ①金澤等(分担執筆)「放射性物質の吸着・除染および耐放射線技術における材料・施工・測定の新技術(633ページ)」, pp126-131, 技術情報協会, 2014.、②H. Kanazawa(分担執筆), "Polymerization of α -Amino Acid N-Carboxy Anhydrides" (Encyclopedia of Polymeric Nanomaterials, 2640ページ), 2014
論文 A.Inada, H.Kanazawa, H.Uekusa, "Crystal structure of L-isoleucine N-carboxy anhydride", X-ray structure analysis online, V.436, 2015, pp44-47 他



- 1) 接着しないか、または、接着力の弱い材料を強く接着する技術：新しい電池の開発、医療器具、新しい材料の製造、車や航空機の軽量化など、多くの用途があります。
- 2) タンパク質モデルの合成：石油がなくなっても、再生可能なアミノ酸からポリマーが作れる。この研究では世界をリードします。
- 3) 洗剤の科学：福島県内には数少ない人材です。消費者をまどわす怪しい製品に注意。
- 4) 染色：楽しい市民講座を開講中、高級なスカーフを1/10の価格で作れます。
- 5) 科学の基礎：放射能を理解するには、科学の基礎の理解が大切である事を知りました。
- 6) 将来を担う高校生達に、本当の教育をしようと思います。

想定するパートナー

やる気のある小企業のリーダー、但し、誠実であること。

具体的な連携、事業化のイメージ

私の技術を使って、社会に喜ばれる物を作る事。「下請けばかりで無く、福島発の製品」を、と思います。

これまでの取組事例

多数の企業と共同開発：水を吸うプラスチック、接着技術をベースにした、新製品の開発。
中高校生のための科学教室：「科研費事業：ひらめきときめきサイエンス」6年連続開催。
放射性セシウムの実体：何故、野菜に移行しないのか?を考える。

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

